

令和7年度登録手話通訳者認定試験 手話技能試験 手話の表現

「越谷キエーロ」

越谷市では、令和6年7月2日から越谷キエーロの販売を開始しました。越谷キエーロは、土に生息する微生物の力で生ごみを分解する非電動型生ごみ処理器です。キエーロは黒土を入れた蓋つきの木製ボックスで、残飯を埋めると分解されて消えてなくなることからキエーロと名付けられています。

使い方は簡単。キエーロの中の黒土に深い穴を掘り、残飯を入れてよく混ぜた後、さらに黒土で蓋をするように覆います。微生物が有機物を分解しますので、どれだけ残飯を入れても土は増えません。微生物の働きをよくするためには、日当たりが良く、風通しの良い場所に置くと良いでしょう。そして、雨除けの蓋も必須です。

残飯は栄養価に富んでいるため、分解後の土は最良のたい肥になります。お金を使わず、身の回りにあるものを活用して作ったたい肥で、菜園やガーデニングを楽しめます。残飯をキエーロに入れるので地域で回収するごみが減るため、ごみ処理費用を削減することができますし、夏場や不在時の腐臭や腐敗がなくなることで暮らしが快適になります。日本の食品ロスは、年間約500万トンで、世界第4位の食料大量廃棄国。食料自給率が37%と低い日本では、食品ロスを減らし、家庭菜園などで食料自給率を増やすことは、大変重要です。

キエーロで分解できるものは食べ物全般で、スープや鍋の残り汁、揚げ物の油、お米のとぎ汁などの液体も投入できます。分解が得意なのは、野菜や肉、麺類などで、逆に分解が苦手なものは、骨、殻、硬い種などです。分解能力を上げるコツは3つ。適度な水分を加えること、キエーロ本体を直射日光に長く当たる場所に置くこと、一度に大量の投入をしないことです。

キエーロは、アクリルの衣装ケースやリンゴ箱、お茶箱でも代用できますが、越谷キエーロは手軽でおすすめです。越谷キエーロは1世帯1基限定で、越谷市砂原にあるリサイクルプラザで購入できます。大きさは、大・中・小の3種類です。小ですと幅53cm、奥行37cm、高さ41cm、重さ約7kgで5,500円です。家計にも地球にも優しい越谷キエーロを試してみませんか。

令和7年度登録手話通訳者認定試験 手話技能試験 手話の表現

「キャラ弁」

息子が3歳になり、今年から幼稚園に通い始めました。幼稚園を選ぶときには、完全給食の園を探しました。というのも、私は家事のなかでも一番料理が苦手だからです。完全給食とはいえ1年に3回、遠足や運動会などの行事の日はお弁当です。お弁当の機会が少ないこともあり、ママ友はキャラ弁を作ると張り切っていました。初めてのお弁当のとき、さすがにキャラ弁は無理だと思ったので、息子の好きなおかずをメインに、私なりに頑張って彩りやピックを工夫して作りました。

幼稚園から帰ってきた息子は「おいしかったよ」と嬉しそうに話してくれたのですが、夫とお風呂に入ったときには、「Aくんは、顔のあるお弁当だった」とか「Bちゃんは、かわいいアニメの顔だった」と話していたと聞き、息子ももしかしたらキャラ弁が良かったのではないかとひそかに反省しました。

そこで、2回目のお弁当の時には、一念発起してキャラ弁に挑戦することにしました。SNSでいろいろ検索してみると、最近顔のパーツになる型や型取り済みの海苔など手軽に買えるようでした。お弁当の前の晩までに、パーツになる海苔やスライスチーズ、ハムなどを完璧に準備しました。

当日の朝、お弁当作りは順調に進み、あとは顔のパーツの海苔を配置するだけになりました。そこで気が緩んだのか、初めて小さな海苔を扱うからなのか、手にくっついてしまったり、上下逆になってしまったりして、出来上がった顔はもはやゾンビのよう。息子の反応が心配でしたが、恐る恐る見せると「ゾンビ弁当だ」と言って嬉しそうでした。作り直す時間はないので申し訳ないとは思いつつも、そのまま持たせました。

3回目のお弁当のとき、今度こそキャラ弁に仕上げなくてはとプレッシャーを感じていたのですが、息子は「またゾンビ弁当がいい」とリクエストしました。そのおかげで、私もプレッシャーを感じるのではなく、子どもの喜ぶ顔を思い浮かべながら「ゾンビ弁当」を楽しんで作ることができました。これをきっかけに、笑顔で食事を楽しめるのが何よりの幸せだと思えるようになったので、最近ではあんなに苦手だった料理も、少し楽しめるようになりました。これもすべて「ゾンビ弁当」のおかげです。